

# 市長のまちづくり方針は

田中孝嗣



**問** ①協働のまちづくりをめざし、市民の参画機会の保証、情報の共有、市民と行政の役割をうたった、基本条例や支援課を設置したいと言われているが、協働については今までの施策を見直し、反省の上に立って取り組むべきである。②環境については、まず琵琶湖の問題があり、また森林も枯

れ木が目立つ。野洲川や童子川の森も無くなり、担当課は現地を充分に把握して、住民の意見に耳

を傾け積極的・効果的な事業の展開が必要であるが対策は。

## 仮称まちづくり基本条例を制定して行きたい

市長

**答** ①「仮称まちづくり基本条例」

は、市民参加の保証や市民と行政の役割分担などについて規定をする予定である。その過程においてアンケート調査や直接市民に聞き取りする等、多くの意見を取り入れる中で

約2年をかけて条例制定していきたい。担当課についても住民活動データベースを作成するほか、それらの活動をより充実するための支援策の検討やコミュニティの育成を図りたい。  
②農村地域の水質保全等で、畦畔管理を徹底し、農薬・肥料が流出しないよう環境保全に努めたい。森林保全等は、水土保持林・森林と人との共生林等に区分し、機能に応じた望ましい森林に誘導していく。

**問** 新市になった今、市としての最重要課題である駅前総合開発計画図の提示を求める。

なお、Dブロックに観光案内所として行畑井上医院建物を利用できないか。市長の見解を問う。

# 野洲駅前の再開発は

太田秀司



## 駅前企業と協議を続行

市長

駅前区域の大部分を所有するアサヒビル(株)が月極め駐車場や、スーパー銭湯を暫定としており、野洲市の顔としての「駅前」の創造のために

**答** 駅前区域の大部分を所有するアサヒビル(株)が月極め駐車場や、スーパー銭湯を暫定としており、野洲市の顔としての「駅前」の創造のために

同社が理解を示している事から、今後も協議を続けていきたい。また、元井上医院の建物は文化的価値が高く、移設場所・活用方法を検討し、有効利用を考えた

# 市民サービスの向上を

の研修等の実際は。

## 管理職より意識改革を図る

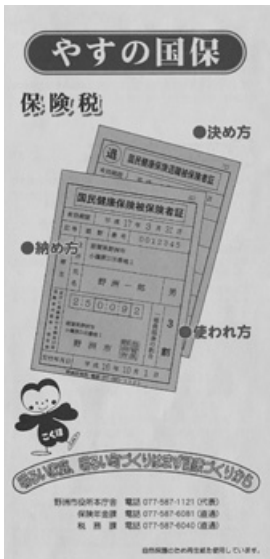
総務部長

**問** 介護保険同様、国民健康保険業務も保険年金課で事務の一元化をはかり、料金も国保税として同課で支払い可能にならないか。なお、市職員勤務態度及び接客マナー

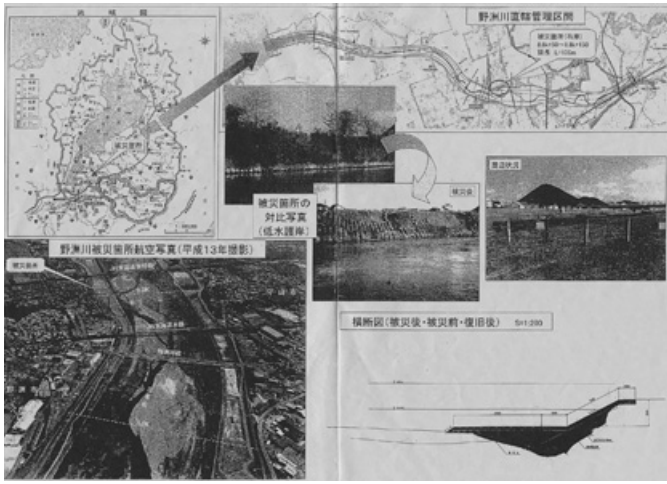
**答** 市民サービスの観点から、多くの方に喜んで

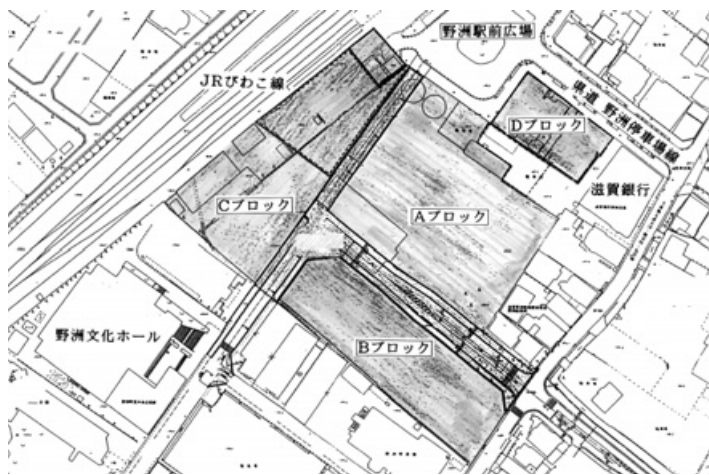
頂ける事務取扱いにより対応する。

の悪影響が見受けられる。資質向上



また、市民皆様への接遇は職員の基本であり、終わりのない取り組みである。まず管理職が率先垂範し部下を指導できるよう意識改革を図って行きたい。





野洲駅南口

野洲駅前広場、JRびわこ線、Dブロック、野洲海岸線、滋賀銀行、Aブロック、Bブロック、野洲文化ホール、Cブロック

野洲駅前広場、JRびわこ線、Dブロック、野洲海岸線、滋賀銀行、Aブロック、Bブロック、野洲文化ホール、Cブロック

# 新市まちづくりと

## 教育方針は

河野司



問 自治力が試される時代

夢ある地域づくりに取り組む時、駅周辺、希望ヶ丘周辺、湖岸周辺の活用と、経済、福祉、環境、教育について、現在の認識と今後の取り組みについて具体的に示されたい。

### 商業施設・公共施設の整備検討、 家庭・地域と協働し心の教育進める

市長

駅前周辺では南口での早期一帯的開発整備に向け、土地所有者のASAヒビール(株)に対し強力に計画立案されるよう働きかけ、CとDブロックでは、商業施設や公共公益施設の整備に必要な土地

に働きかける。湖岸では良質な保養、レクリエーション施設等の誘致を計画的に進める。(経済)地産地消の促進を後押しする「まちの駅」の実現に着手し、商業支援策としての企業誘致条例の制定を目指す。「福祉」

# 職員配置の適正化と

## 「うつつ」対策

川口東洋



問 旧雨町職員が新しい

人間関係をつくりながら、明るい市民サービスの提供に努力しているところだが、市民の反応に冷ややかな声が多い。直接市民と接する部門での稼働力の低下が指摘されている。2か月経過時点での評価と対応について。

### 4月には適正な 人事配置を

市長

めまぐるしく進展する社会環境下で深刻化してきている「うつつ」対策についてどう対応されているのか。

新市の人事異動は、管理職116名、一般職353名、嘱託職員127名計596名を行った。本・分庁舎での利便性を損なわない配慮をしたが逆に現場での負担が大きくなった。

自己管理による健康管理と一方で、職場全体での取り組みも必要で、産業医による相談、特にメンタルヘルスは3か月に1回専門医によるカウンセリングも実施。この問題は今後もしっかり取り組む。

## その他の質問

○庁舎管理と、駐車場確保について

職員が落ち込んでいる現状も見受けられ、助け合い、支え合いに期待している。今後自己申告、勤務評定制度など十分に勘案し適正な職員配置に努める。



本庁舎内